

# 『傷寒論』の理解をより深めたい漢方家、必読の書。

劉渡舟教授の薰陶を受けた著者の、『傷寒論』の50の論題への緻密な考察と臨床経験。

## 本書の特色

- ◆本書は劉渡舟先生を師とする著者が、豊富な知識と長年の臨床経験にもとづき、「傷寒論」の50の論題に関する緻密な考察を述べたものであり、その内容はたいへん示唆に富む。
- ◆「内經」「神農本草經」などの古典理論にもとづくことで、「傷寒論」の難点や、論争の絶えない問題をすっきりと解決している。
- ◆「傷寒論」に記されているさまざまな病態について、著者自身の多くの臨床経験例を交えながら解説し、臨床で治療効果を発揮するための実践的な考え方を提示している。

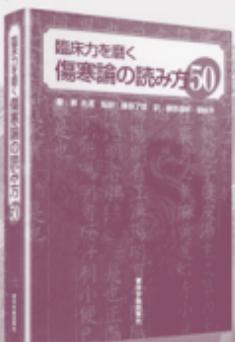
裴永清君は師を尊敬し、学問を重んじ、古人の風格を有し、駿明で理解力に優れている。彼は、勤勉で、私の教える学問をよく継承しており、それにもとづいて臨床実践を行い、井庭論治の見解は抜きん出で優れている。また、仲景の理論を研究し、問題点を提起し、細かく分析しております。それらの多くは前回に述べた。まさに世に言う「書は藍より出て、藍より青し」である。

裴君が著書「傷寒論臨床应用五十論」の原稿を私に見せてくれた。それは10万字を越えるので、歴代の注釈家より新しい見方を示していく。読むと目から鱗が落ちる思いがした。ゆえに私は、ここに喜んで序文を記す。

序文(劉渡舟 著)より抜抄

# 臨床力を磨く 傷寒論の読み方50

裴永清著／藤原了信監訳／藤原道明・劉桂平訳  
A5判／並製／312頁／定価 本体3,800円+税



## 著者紹介

裴永清、1943年生れ、南京市江寧区出身。1978年に北京中医学院(現・北京中医药大学)大学院にて、傷寒論の大豪・劉渡舟教授に師事。現在は北京中医大学傷寒論研究室教授、大学院生指導教授、主任医師。幼い頃から駿明で勉学を好み、実践を重視し、岐黄の医術(中医学)を詳しく研究し、仲景方の書物を精緻に読みだ。古き医家の書れた点を取り入れることに努め、30余年の臨床経験を蓄積して理解を深めた。高年にわたる一連の臨床経験は、伝統性の高い治療効果を認め、多くの患者の称賛を受けしており、著者の学術と臨床経験の影響はそこにある。

中医学を学ぶための雑誌「中医臨床」(季刊)ますます面白く、実用的な内容になっています。

東洋学術出版社

ご注文は、メールまたはフリーダイヤルFAXで

FAX.0120-727-060

T272-0622 千葉県市川市宮久保3-1-5 / TEL.047-371-8337 / E-mail:hanbai@chuui.co.jp / ホームページ <http://www.chuui.co.jp/> <http://www.chuui.com/>